

周作クラブ会報

(第33号)
2008年11月25日発行



◆主な記事◆

- 第12回「周作忌の集い」(2・3面)
- 総会報告と原点的旅募集(4・5面)
- 周作クラブ(会則) (6面)
- 第3回「遠藤周作研究会」(8面)
- 応募原稿むかしの出の作(12・13面)

報告 — 第8回定時総会

狐狸庵丸順風 会員も500名突破

役員改選だが、加賀会長以下現体制は変わらず、運営も順調に

2008年9月29日(月)、午後4時より、東京神田一ツ橋の「如水会館」において、「周作クラブ」第8回定時総会が開かれた。出席者48名、委任状395通で総会は成立し、予定されたすべての議案が審議・承認され、午後5時30分、滞りなく終了した。

開会に当たり加賀乙彦会長があいさつ。遠藤周作との出合いは、キリスト教への入信を模索していたところで、遠藤周作を代父として洗礼を受けたことなどを語り、「亡くなって12年も経つのに、こうして多くのファンが集い、遠藤文学だけでなく、遠藤さんの遊びの精神を受けついでいるのは、すばらしいこと」と述べた。次いで岡田厚美さんが議長に選出され、議事進行となった。

●第1号議案—前年度事業報告(高橋千劍破幹事)
昨年9月29日の周作忌から本年8月

までの全事業(遠藤文学原点の旅や勉強会、会報発行等)について報告、また今年から総会及び周作忌を如水会館で行うことになった経緯を説明、拍手で承認された。

●第2号議案—前年度会計報告(宮辺尚幹事)

会計報告に先立ち、前年度開始時(2007年9月1日)に479名だった会員数が、その後の退会者やお亡くなりになった方を差し引いて495名となり、今月中には500名を超えることが確実との報告がなされた。また、8月発行の会員名簿には、本年7月以降の新人会員は掲載されていない旨の説明があり、本題に移った。

収入は前年度からの繰越金を含めて3,758,722円、支出は1,875,669円、次年度繰越1,883,053円。その内訳が報告されたのち、会計監査の



関西支部の報告を聴く

光武喜代人さんの監査報告があり、拍手で承認された。

●第3号議案—役員・委員について(加藤宗哉幹事)

今年は役員改選の年であるが、規約により再任を妨げないというあり、多くは留任となった。幹事会の提案に基づき拍手をもって承認された役員・委員は以下の通り。

会長・加賀乙彦。顧問・黒井千次。幹事・加藤宗哉、高橋千劍破、宮辺尚。監査・岡田厚美、光武喜代人。委員は、〈総務委員〉加藤宗哉委員長、今井真理、浦野真弓、大澤真理、亀岡園子、高田

幸子、田村百合子。〈編集委員〉高橋千劍破編集長・金子コウ副編集長・山根道公顧問・岡田厚美、黒澤政子、近藤恭弘、高木香織、太原正裕、矢内一正。〈会計・会員管理委員〉宮辺尚委員長・中村通子、樋口(八木)文子(4ページ)の「役員一覧」を参照。〈関西支部世話人〉横井勲。

●第4号議案—今年度事業計画(高橋千劍破幹事)

この日総会後に催される「周作忌」の集いについての案内に始まり、1月下旬の新年会、5月中旬の原点の旅、会報発行予定等を発表(4ページ参照)、また宮辺幹事から本年度も8月に会員名簿の改訂版を発行することが提案され、合わせて拍手で承認された。

●第5号議案—今年度予算案(宮辺尚幹事)

収入予定は3,651,693円、支出予定は2,265,000円、予備費1,386,693円。その内訳が説明され、拍手で承認された。

以上で議案は終了し、続いて関西支部世話人の横井勲氏が、昨年度の活動と本年度の予定について報告。最後は周作クラブ長崎の高尾直子代表があいさつ。この後の周作忌で合唱を披露するため長崎からも多くの会員が来ている事を述べ、拍手を浴びて終了した。

尚、総会事項の詳細は4・5ページを参照。(記・高橋千劍破)